

4 プランⅡ期間中の取組状況及び4年間の振り返り【修正案】

施策	項目	プログラム	取組内容	プランⅡ期間中の取組状況				4年間の振り返り(効果額 単位:千円)	重点項目設定
				27年度	28年度	29年度	30年度	期間後の取組方針	
1 開かれた市政の推進									
	(1) 市民参画の推進								
		① 協働する事業の提案など、市民や団体などの提案を受け入れる仕組みを充実させる。							
		広報誌など各種刊行物の企画・編集業務への市民参画の推進【秘書・広報課】	主婦・大学生・小中学生の参画(記事提供・表紙作成など)				行政の立場以外の幅広い層の視点を取り入れ、刊行物の企画・編集を行った。		市長公室
							年代・性別にとらわれず、多くの市民に読んでもらえる記事の作成に努める。		
		みんなでつくるまち推進会議を開催し、市民参画及び協働について研究【政策企画課】	実績なし		有識者懇談会	住民座談会	推進会議自体は未開催だが、懇談会や座談会などで市民参画のまちづくりを推進した。		
		「池田市 研究×まちづくりサロン」による産官学民の連携【政策企画課】				実施	必要性に応じた適宜開催とすることを概ね決しているが、引き続き、より効率的・効果的な運営について検討する。		
							新たなまちづくりの手法として、産官学民による連携を行った。		
		大学生の参画による商店街の空き店舗活用【地域活性課】	関西大学、関西学院大学、大阪大学と商店街が連携イベント等を実施				大学や民間企業等と連携しながら、産官学民によるまちづくりを推進する。		
							学生の力を活かして、池田栄町商店街及び石橋商店街の活性化に寄与した。		
		外国人のための保育サービス付日本語教室をボランティアの協力により実施【人権・文化国際課】	10回実施	64回実施	79回実施	74回開催	今後策定予定の市のグランドデザインに合わせ、中心市街地活性化基本計画の内容見直しに向けた調整等を進める。		
			外国人の地域への融和に寄与した。						
		交通安全啓発活動への市民参画の推進【まちづくり・交通課】	14,400人参加	13,700人参加	13,000人参加	11,800人参加	参加希望者の増加に対応するため、集団型の日本語教室を開設する。		
			各年齢層に応じたきめ細かい交通安全教室の実施により、交通安全意識の高揚を果たした。						
		② 各種審議会などのメンバーとして市の政策形成の過程に市民の参画を求める。							
		地域防災リーダー養成講座の開催による防災活動に係る市民参画の推進【危機管理課】	5回実施	5回実施	5回実施	3回実施	防災講座の開催によって、市民に対する防災意識の強化を行った。		
							市内の小学校区ごとでの自主防災組織の結成率に地域差が生じているため、共助の重要性をより浸透させていき、結成を呼びかける。		
		各種審議会などのメンバーの公募【各部署】	7人公募	2人公募	5人公募	3人公募	公募による市民委員の市政への直接参画が図られた。		
							任期の満了等により市民委員の選出の必要がある場合に公募を行う。		
	(2) 広報機能の充実								
		① 広報誌や各種刊行物の内容を一層充実させ、情報発信する。							